

2020・611

畑 啓之

一年前の今日のブログは「技術士一次試験の攻略法」 今年もいよいよ

今年は新型コロナの流行で、昨年とは社会情勢が大いに異なるが、このような時だからこそ、闘うために自分の実力を高めたいと考えても不思議ではないだろう。技術士という資格は世間では知名度はそんなに高くはないかもしれないが、この試験に挑戦する過程において、自身の持てる実力を一度棚卸し、再強化を図るための手段と考え、この試験に真剣に取り組めば意味あるものとなることは確かである。

この試験は、一次試験と二次試験に分かれている。二次試験は個人について状況が異なり、その難易度について言及することは難しいが、一次試験については、合格だけを目指すならばそんなに難しい試験ではないと思う。

ただし、棚卸と自身のポリッシュアップの両方を目的とするのならば、この試験とトコトンつき合う必要がある。この試験は不思議なもので、見るだけで答が条件反射的にわかるものから、Webで調まくって、やっとその解法らしきものに行き当たるが、理解ということではその得られた結果は入り口にしか過ぎないものまで、種々入り混じっている。

この問題を、自分の要求するレベルと突き合わせて勉強することになる。合格だけを考えるならばその勉強に要する期間は2カ月。徹底的な深耕を目的とするならば4か月といったところか。

今年は昨年よりも多くの方がこの試験に挑戦されるのではないだろうか。

日本技術士会のホームページからの取得情報

受験申込書配付	6月12日~7月1日
受験申込受付期間	6月18日~7月1日
試験日	10月11日
合格発表	12月18日

2019, 6, 11

畑 啓之

技術士第一次試験攻略法は過去問の繰り返し学習あるのみ

国家試験難易度ランキングでは、その合格難易度をS(超難関)からD(易しい)までの5段階に仕分けしている。中小企業診断士や技術士の資格はA(難関)に分類され、技術士補はB(普通)に分類される。

この評価をそのまま鵜呑みにするかどうかは別にして、まず技術士第一次試験の難易度は普通、これに合格すると技術士補を名乗ることができ、ついで技術士二次試験に合格すると晴れて技術士を名乗ることができる。技術士となるためには、この2回の試験に合格することが必要である。

技術士と聞くと難しい資格と感じられる向きも多いかもしれないが、私の専門とする有機化学を見てみると出題される問題は非常に基礎的な事柄を問うている場合がほとんどである。問題は基礎的でしかも同じ傾向の問題が出題される確率が高い。過去問をみっちり勉強することが第一次試験に合格する王道である。基礎力なくして二次試験の合格はおぼつかないので、一次試験の勉強では疑問と思った事柄にまで範囲を広げて勉強しておくことが理想である。

試験勉強は繰り返し学習である。まずは、勉強すべき範囲を決めて、その範囲を何度も何度も勉強する。1回目で解けなかった問題をマークし、2回目にはその部分が解けるかの確認をする。そして、まだ理解不十分なところを3回目には確認を兼ねながら勉強すると、本1冊がほぼ攻略できることになる。時間をおいてさらに2回、計5回に亘り1冊の本を学習すると、その本の内容が間違いなく自分のものとなる。ついで、同じ分野の書籍であってもより高度な内容の書籍に移り勉強を高度化していくのである。

よくある失敗は、多くの参考書を買込み、あれもこれも勉強しようとする、ただただ忙しくしているのみで、結果的に知識は身に付かないことになる。やはり、一歩々々着実に歩いていくのがゴールへの近道であり、何事にもこれしかない。